

# 平成29年度 学習上の支援機器等教材活用評価研究事業 成果報告書（概要版）

実施機関名	学校法人明星学苑 明星大学
実施期間	平成29年9月20日から平成30年3月30日

## 1. 事業の概要

本研究では、読み・書きにつまずきのある児童に、どのような指導方法や教材を使うのが適切であるか、という課題に対し、その方向性を簡便に見当づけられる「学力チェックリスト」を作成し、実施した。また、チェックリストでつまずきが見つかった児童に、更なるアセスメントを行い、教材選択に繋げるための実態把握に必要なツールを検討した。

第一段階のアセスメントとして、読み・書きのどの領域に困難があるか確認するための「学力チェックリスト」を作成した。このチェックリストの主な特長は2つある。1つ目は、日常、子供の読み書きの様子を観察する中で気づきやすいつまずきを項目としているため、専門家だけでなく、新任教員や子供の保護者でも回答が可能であり、手軽に実施できるということ、2つ目は、結果を見ると、子供が読み・書きのどの領域でつまずいているか分かるため、その後の支援や指導に活用することができるということである。今回は、通常学級に在籍する児童の読み・書きのつまずきの状態や傾向を検討し、「学力チェックリスト」の精度を向上させることをねらいとして、郊外にある公立小学校2校に通う全児童を対象に、調査を行った。回答は、各クラスの担任教員に依頼した。

第二段階のアセスメントでは、第一段階の「学力チェックリスト」で読み・書きのつまずきが確認された児童のうち、担任教員によって抽出された子供に対し、つまずきの原因と効果的な指導方法を特定するための更なる詳細なデータ収集を目的として、日本LD学会開発のiPadを用いたLDアセスメントツール「SKAIP」の視知覚検査、及び、明星大学の発達支援研究センターが作成した「原因チェックテスト」（平成28年度に日野市が受託した文部科学省の研究事業において作成。一部改良）を実施した。また、一部の児童に対しては、二段階のアセスメント結果に基づく個別の学習指導を行い、事例研究として、教育実践的・臨床的な妥当性を検証した。

## 2. 事業の成果

「学力チェックリスト」の「読み」「書き」それぞれについて、合計点数及び各項目のつまずきの頻度（「なし」「たまにある」「よくある」）の比率を学年ごとに集計し、分布の傾向を検討した。なお、1年生においては、調査を行った9月時点で、未習により回答が得られない項目がいくつかあったため、合計点数の分析対象から除外した。「読み」全体でつまずきが全くみられないと評価された児童の割合は、2年生70%、3年生66%、4年生58%、5年生75%、6年生82%であった。合計点数の平均値を比較したところ、6年生は2～5年生よりもつまずき点数が有意に低く、2～5年生の間には有意な点数差はみられなかった。1年生は、ほぼ全ての項目で、つまずきが「よくある」児童の割合が他学年より高く、中でも、拗音の読み、単語の読み、語彙、文の音読の項目は、10%を超えていた。6年生では、文字の読み、語彙、文の内容理解のつまずきが「よくある」児童は1人もいなかった。「書き」全体でつまずきが全くみられないと評価された児童の割合は、2年生55%、3年生47%、4年生48%、5年生70%、6年生75%と、読みに比べやや低い割合であった。合計点数の平均値を比較すると、読み同様、6年生は他の学年よりもつまずき点数が有意に低いという結果であった。1年生は、大半の項目で、つまずきが「よくある」児童の割合が他学年よりも高く、中でも、特殊音節の表記、単語の書きの項目は、約20%と高い割合であった。漢字の書きの項目は、2～6年生を通じて10%前後みられており、どの学年でも困難を示す児童は一定数存在する可能性があると考えられる。また、作文の内容に関するつまずきも、学年にかかわらず比較的多くの児童にみられているようである。

「SKAIP」の視知覚検査と「原因チェックテスト」の結果からは、学力チェックリストでみられた読み・書きのつまずきの原因を1つに特定することはできず、つまずきの背景には複数の要因が存在している可能性がうかがえた。

## 3. 今後の課題と対応

「学力チェックリスト」については、今回の研究で得られた結果を踏まえ、項目を見直し、改良を行い、再度、公立小学校4校の通常学級に在籍する全児童に対して調査を実施する予定である。

「学力チェックテスト」でみられた読み・書きのつまずきに対して、その背景要因を多面的に捉え、効果的な指導方法や教材の選定に繋げるためのアセスメントとして、「原因チェックテスト」が有用なツールとなるよう、引き続き、基礎研究や事例研究を積み重ねていくこととする。

#### 4. 指定校について

平成29年度の研究では、昭島市の公立小学校2校（昭島市立拝島第一小学校、昭島市立富士見丘小学校）を指定校とし、研究、調査を実施した。

（小学校）

指定校名：昭島市立拝島第一小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	124	4	109	4	120	3	102	3	102	3	100	3
特別支援学級		0		0		0		0		0		0
通級による指導 (対象者数)	3		2		8		1		7		3	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	24	1	4	1	1	6	1		3	43

※通級による指導の対象としている障害種：情緒障害

指定校名：昭島市立富士見丘小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	34	1	32	1	36	1	34	1	42	2	28	1
特別支援学級		0		0		0		0		0		0
通級による指導 (対象者数)	2		1		3		4		6		3	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	15	1	2	1	2	1	1			25

※通級による指導の対象としている障害種：言語障害・情緒障害

#### 5. 問い合わせ先

- ① 組織名 学校法人明星学苑 明星大学
- ② 担当課室 発達支援研究センター
- ③ 電話番号 042-591-5993
- ④ F A X 番号 042-591-5324
- ⑤ メールアドレス gad-mission@ml.meisei-u.ac.jp

### 読みのチェックリスト

階層	質問項目	なし	たまにある	よくある
文字	1 読めないひらがながある。 [よくある誤り例]			
	2 濁音(例:「が」「だ」等)、半濁音(例:「ぼ」「び」等)が読めないことがある。 [よくある誤り例]			
	3 拗音(例:「しゃ」「ぎゃ」「びゃ」等)を読むことが苦手。 [よくある誤り例]			
	4 読めないカタカナがある。 [よくある誤り例]			
文字・語	5 習った漢字でも読めないものが多い。 [よくある誤り例]			
語	6 単語の読みがたどたどしい。 [よくある誤り例]			
	7 本を読むと、知らない言葉が多い。 [よくある誤り例]			
文	8 文を正確に音読することが苦手。 [よくある誤り例]			
	9 助詞を違った読み方にする。(例:先生が教える→「先生に教える」と読む 等) [よくある誤り例]			
	10 一文の内容が理解できない。 [よくある誤り例]			
文章	11 物語を自分で読んで、ストーリーを理解することができない。 [よくある誤り例]			
その他、読むことで気になることがあればお書きください。 ※自由記述				

### 書きのチェックリスト

階層	質問項目	なし	たまにある	よくある
文字	1 書けないひらがながある。 [よくある誤り例]			
	2 書けないカタカナがある。 [よくある誤り例]			
文字・語	3 習った漢字がなかなか書けるようにならない。 [よくある誤り例]			
語	4 単語を書くときに、文字が抜けたり、文字の順序が違ったりする。 (例:とうもろこし→『ともろこし』『とうもろし』等) [よくある誤り例]			
	5 小さい文字のあることばを書くことが苦手。 (例:しょうがっこう→『しゅうがこう』『しょうがっこう』等) [よくある誤り例]			
文	6 文を書くときに、途中の単語が抜けたりする。 (例:ぼくは遊園地に行きました。→ぼくは行きました。等) [よくある誤り例]			
	7 助詞の使い方に間違いが多い。(例:先生口教える→先生に教える と書く) [よくある誤り例]			
	8 文の内容に混乱が起きやすい。(例:文の書き出しと終わりがつがっていない等) [よくある誤り例]			
	9 文の語尾を間違えやすい。(例:ました→ます 等) [よくある誤り例]			
文章	10 短い作文しか書けない。 [よくある誤り例]			
	11 書こうと思ったことと、違った内容の作文になったりする。 [よくある誤り例]			
	12 作文を書くとき、起こった事実を羅列するだけになりがち。 [よくある誤り例]			
	13 接続詞(例:「そして」「だから」「しかし」等)を上手に使えない。 [よくある誤り例]			

その他、書くことで気になることがあればお書きください。 ※自由記述